

— 岩手県立博物館テーマ展『比爪-もう一つの平泉-』パンフレット13頁 —

3 比爪-奥州藤原氏第二の拠点- ② 周縁遺跡

《高水寺(紫波町二日町字古館)(2)》

斯波氏の居城が「高水寺城」という名称であるのは、もちろん寺院の高水寺に由来しています。高水寺城西側の「観音平」には嘉元三年(1305年)銘の板碑があり、城館以前の寺域の名残を示すものです。高水寺城跡第3次発掘調査においては、12世紀のかわらけ、国産陶器、中国産磁器がまとまった量出土しており、高水寺城域に何らかの奥州藤原氏の時代の施設が存在したことを確定しています。

寺院の高水寺は、中世には斯波氏の城館「高水寺城」の北麓の二日町の片山に移設されていたとされています。その後、慶長年間に「高水寺村十日市」の東裏に移転し、さらに寛永年間に盛岡城下に移転したとされています。盛岡高水寺は真言宗で、明治初年の神仏分離令により住職が神職に転向して廃寺となりました。

《《《 4～5月行事予定のお知らせ 》》》

4月 9日 (日曜日)	平成29年度定期総会 * 28年度事業報告、決算 * 29年度事業計画、予算 * 会則改正 * 役員改選	午後2時から午後5時まで 赤石公民館 総 会 14:00～15:00 受付開始13:30～ 懇親会 15:00～17:00 会費1,000円 (当日受付)
4月19日 (水曜日)	第81回月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者： 平井和夫 吾妻鏡と奥州平泉 8
5月17日 (水曜日)	第82回月例発表会	午後7時から午後9時まで 赤石公民館 発表者： 高橋敬明 鎌倉時代の紫波

〇〇〇 ちよつと一言 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 〇〇〇 【会員投稿】

3月15日の平成28年度紫波町発掘調査報告会に参加しました。日詰西遺跡第1次・南日詰大銀Ⅱ遺跡第2次・間木沢遺跡第1次の、3遺跡の発掘調査報告でした。

日詰西は2年前に登録された新しい遺跡のようですが、円形周溝跡の大半が後年の削平で壊されていたのは残念でした。大銀Ⅱは来年度第3次調査が行われるようで、検出済みの三面庇建物跡が四面庇になるのは、ほぼ間違いないと思われ、ますます期待が大きくなりました。

間木沢は紫波二中のプール改築に伴う緊急発掘とのことですが、628口の柱穴は何なのでしょう？ 野外調査期間が11月～2月の冬期とは信じられないことです。幸い積雪が少なかったとはいえ担当者の奮闘に頭が下がります。調査時間が十分取れたのか心配でもあります。

種々、事情があるのかもしれませんが、埋蔵文化財の調査体制がこのままで良いのか、町民皆で、本気になって考えなければならない状況にあると感じました。

※ ※ ※ 比爪館跡の発掘調査 No.38 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※

比爪館跡 第30次発掘調査報告書 <紫波町教育委員会(平成25年3月発行)>

【比爪館遺跡 第30次発掘調査(1)】 ~抜粋~

* 調査期間 平成24年7月2日～7月31日 * 整理作業 平成24年10月1日～平成25年2月28日

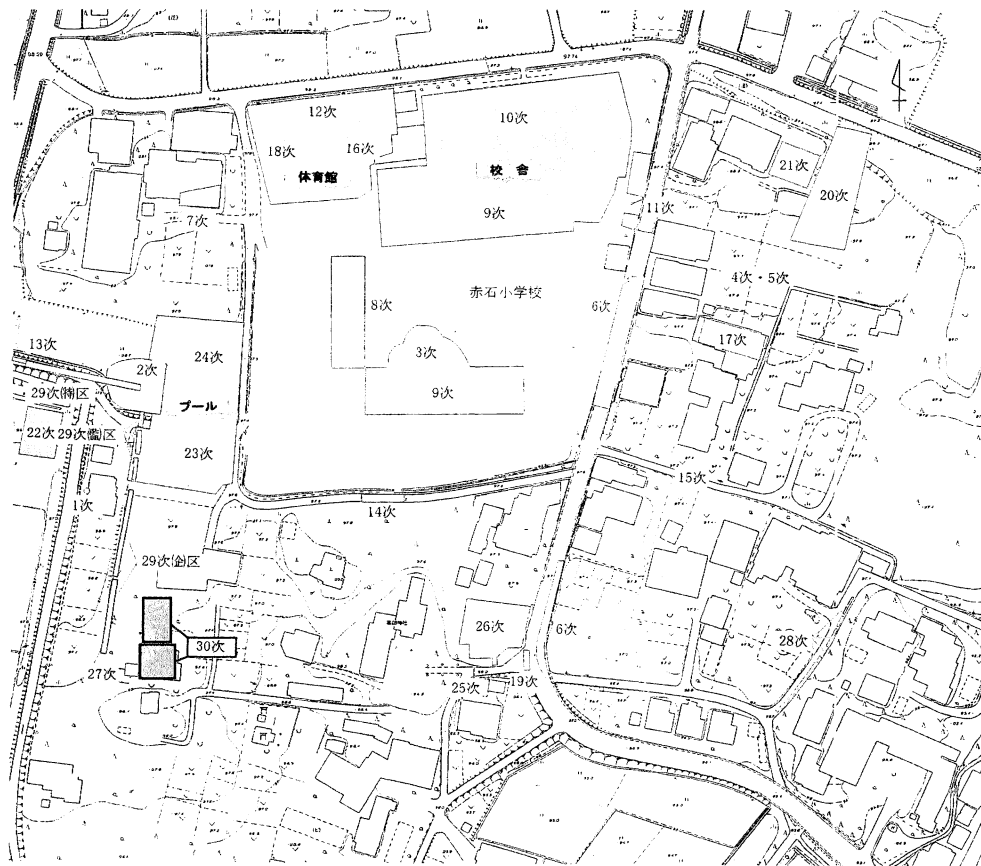
* 調査面積 275㎡ * 調査事由 個人住宅建築(建替)

* 調査担当 花籠博文、鈴木賢治 * 執筆 鈴木賢治 * 編集 花籠博文、鈴木賢治

2 遺跡の概要

(1) 過去の調査(4頁)

当遺跡は、奥州藤原氏の一族比爪氏の居館跡として周知の所である。考古学的な調査は、1965年の板橋源氏(岩手大学)の調査を始まりとし、第1次調査から第5次調査まで実施している。その後、紫波町教育委員会が主体となり、遺跡の範囲確認調査や開発行為に伴う緊急発掘調査及び試掘調査を、第29次まで継続して実施している。これまでに検出された遺構は、掘立柱建物跡23棟、竪穴住居跡69棟、土坑跡179基、溝跡50条、井戸跡37基、陥し穴27基、焼土遺構・その他12基、柱穴多数などである。



第3図 比爪館跡調査区域図(1:2,000)

(一部加筆)

(2) 調査にいたる経過(5頁)

平成24年4月18日、箱崎武氏から比爪館跡地内住宅の建て替えによる、文化財保護法第93条第1項による届け出が提出された。これを受けて協議を開始したが、調査を行うためには旧住宅の解体を待つ必要があった。また、第29次調査で行った進入路に埋設する公共下水道の整備も重複していることから、建築会社も含め三者で協議し発掘調査及び工事のスケジュールを設定した。その結果、平成24年6月中旬旧住宅解体後から7月末までの期間で調査を行う事とし、8月からは直ちに建築場所の地質調査が入ることとなった。なお、建主様からあらかじめ協議があったことから、発掘調査は平成24年度文化財保護事業の補助対象として調査を行った。

(3) 第30次調査の概要(6頁)

検出遺構 竪穴住居跡1棟、土塁状マウンド1基、土塁状遺構1基、池跡(推定)1面、土坑跡2基、溝跡1条、柱穴26口

出土遺物 土師器甕、あかやき土器坏・甕、かわらけ、土製品など。(次号に続く)